

一般社団法人山口県医師会平成28年度第12回理事会

平成28年9月1日(木) 午後4時50分～午後7時21分

河村会長、吉本・濱本副会長、林専務理事、弘山・萬・加藤・藤本・今村・沖中常任理事、白澤・香田・中村・清水・船津・前川・山下理事、藤野・篠原・岡田監事

協議事項

1 中国四国医師会連合総会・分科会について

本会の引受けにより開催する標記について、会議日程、来賓対応、役職員の担当等について協議を行った。

2 中国四国医師会連合常任委員会について

会議の運営及び広島県より提出された議題の対応について協議を行った。

3 中国四国医師会連合医事紛争研究会の各県の提出議題について

本会の引受けにより、平成28年11月6日(日)に岡山市で開催する標記研究会において、「協議題」7項目及び「日医への要望」1項目を提出することとした。

4 平成29年度特定健診の標準単価について

平成29年度の標準単価について、平成28年度診療報酬改定を反映させた標準単価とすることを協議し、承認された。

5 児童虐待の発生予防等に関する研修会について

本会の地域保健事業の児童虐待対策として、山口県産婦人科医会との共催により、10月30日(日)に山口県医師会館において標記研修会を開催することが決定した。

6 平成28年度 HIV 医療講習会の開催について

第4回理事会において公益財団法人エイズ予防財団が開催する標記講習会に応募することが決定しており、日程、講師について協議を行った。

7 ワーキングチームの設置について

本会事業等の具体的な取組みを機動的に協議、実行していくために、「医師会立看護学校問題」「地域医療構想」「地域包括ケア(在宅医療・介護連携等)推進」の三つのワーキングチームを設置することが決定した。

8 山口県総合保健会館の敷地内禁煙に関する要望書について

「山口県たばこ対策ガイドライン」に沿って、受動喫煙防止のための「施設内禁煙」が実施されている山口県総合保健会館について、県民の健康医療を担う入居団体7団体が連名により、指定管理者である公益財団法人山口県健康福祉財団に対し、山口県総合保健会館を「敷地内禁煙」とするよう要望することについて協議し、承認された。

9 平成 29 年度「標準的な健康診査の実施時期、実施回数及び内容について」に基づく、委託金額の設定（修正案）について

8 月 4 日及び 8 月 18 日に協議したこのことについて、「外来栄養食事指導料」を「初回 260 点、2 回目以降 200 点、初回は月 2 回、その他の月は 1 回に限り算定する。」と修正することとなった。

人事事項

1 日本医師会会内委員会委員について

医師会将来ビジョン委員 1 名の変更が決定した。

報告事項

1 医事案件調査専門委員会（8 月 18 日）

病院 3 件の事案について審議を行った。（林）

2 第 2 回性暴力被害者支援検討会議（8 月 18 日）

新たな支援体制、相談支援員による支援の流れ、支援の充実等について協議を行った。（今村）

3 下関市医師会との懇談会（8 月 19 日）

本会より、医師会への加入促進対策、在宅医療推進事業、医療保険上の問題点等について説明後、下関市医師会より提出された、「認知症サポート医養成研修会の受講者選定」について意見交換を行った。（林）

4 第 47 回中四九地区医師会看護学校協議会（8 月 20～21 日）

徳島県立総合看護学校の引受けで開催。「地域包括ケアシステムにおける看護職の役割について」（日本医師会 釜范 敏 常任理事）、「今、求められる看護基礎教育の在り方―地域を支え、地域の支えによって成長する看護職―」（一般社団法人日本看護学校協議会 荒川眞知子 会長）等の講演及びシンポジウム、質疑応答が行われた。
（沖中）

5 日医地域包括診療加算・地域包括診療料に係るかかりつけ医研修会（8 月 21 日）

（1）脂質異常症、（2）糖尿病、（3）高血圧症、（4）認知症、（5）禁煙指導、（6）健康相談、（7）在宅医療、（8）介護保険、（9）服薬管理等、講師 9 名による講義が行われた。（弘山）

また、本会会議室においては、テレビ会議システムによる研修会を行った。（萬）

6 中国四国医師会連合学校保健担当理事連絡協議会（8 月 21 日）

鳥取県米子市で開催された協議会において、各県から提出のあった議題（新しい学校健診体制）について意見交換を行った。また、各県からの日本医師会への要望については、会議に出席していた道永常任理事から回答があった。なお、山口県が提出していた「運動器検診の事後措置」については日医に持ち帰り検討されることとなった。
（藤本）

7 中国地区学校保健・学校医大会（8月21日）

島根大学医学部整形外科の内尾祐司 教授による「学校における運動器検診の意義と実際」、日本医師会の道永麻里 常任理事による「学校保健の動向」の特別講演2題及び研究発表4題が行われた。山口県からは、たにむら小児科の谷村 聡 理事長による「『運動器検診』導入による学校医及び学校現場への影響調査」が発表された。
(藤本)

8 山口県社会福祉協議会第1回地域福祉推進委員会（8月23日）

本委員会に、新たに4団体が加入したことが紹介された後、平成28年度事業の進め方、「第5次福祉の輪づくり運動推進県域活動計画」の平成27年度の成果と課題、地域福祉課題提言部会の事業等について協議を行った。(今村)

9 熊毛郡医師会との懇談会（8月23日）

本会より、医師会への加入促進対策、在宅医療推進事業、医療保険上の問題点等について説明後、熊毛郡医師会より提出された、「地域基幹病院である周東総合病院小児科の現状と今後」「地域医療構想における熊毛・柳井地域の特殊性」「医師会のあり方」等について意見交換を行った。(林)

10 新規個別指導・個別指導「山口市」（8月25日）

診療所11機関について実施され立ち会った。(萬、清水、船津)

11 勤務医部会第2回企画委員会（8月27日）

座談会、総会・シンポジウムにおけるテーマ、講師、シンポジスト等を決定した。
(加藤)

12 臨床研修医交流会（8月27・28日）

1日目は、山口県医師臨床研修推進センターの事業紹介、山口大学大学院医学系研究科呼吸器・感染症内科学の松永和人 教授による特別講演「呼吸器内科の魅力と現状」、熊本県地震被災地での山口県医師の体験報告、グループワーク、懇親会を開催した。2日目は、(医)松藤会入江病院の入江聡五郎 副院長による特別講演「バイタルサインからの臨床診断」、症例検討会及びグループワークのベストプレゼンテーション賞の発表が行われた。(中村)

13 第20回中国四国医師会共同利用施設等連絡協議会（8月27日）

愛媛県医師会の担当で開催。「地域医療構想と新しい専門医制度に向けての中国四国医師会病院のあり方」をテーマにしたシンポジウムや日本医師会の松原謙二 副会長による特別講演「医療における諸問題について」が行われた。(船津、前川)

14 医事紛争防止研修会（8月29日）

国立病院機構関門医療センターにおいて開催。「医療安全における当センターの現状」(関門医療センター 田邊富江 医療安全係長・看護師長)、「医療紛争の流れと弁護士としての気付き」(川崎史緒里 弁護士)、「医療紛争の現状と問題点」(林 県医師

会専務理事)の講演等を実施。参加者は医師・看護師等医療関係者 112 名。(林)

15 吉南医師会との懇談会(8月30日)

本会より、医師会への加入促進対策、在宅医療推進事業、医療保険上の問題点等について説明後、吉南医師会より提出された、「山口県における地域包括ケアシステムの現状」等について意見交換を行った。(林)

16 山口県災害医療関係者連絡調整会議(8月31日)

本県の災害医療体制の充実を図るため、山口県災害医療コーディネーター及び災害拠点病院の災害医療担当者をメンバーとする標記会議が開催された。「熊本地震の対応状況報告」、「熊本地震を踏まえた防災対策の検証・検討」について協議した。また、今後も年2回程度開催されることとなった。(弘山)

17 第1回地域医療構想調整会議「下関・柳井」(8月31日)

下関保健医療圏と柳井保健医療圏において、標記会議が開催された。それぞれ、会長の選任に続き、県医療政策課から「地域医療構想」と「地域医療介護総合確保基金」について説明が行われた後、協議を行った。(弘山)

18 広報委員会(9月1日)

会報主要記事掲載予定(10~12月号)、炉辺談話、歳末放談会、tys「スパ特」のテーマ等について協議した。(今村)

19 会員の入退会異動

入会10件、退会7件、異動8件。(9月1日現在会員数:1号1,302名、2号871名、3号413名、合計2,586名)

医師国保理事会第9回

協議事項

1 傷病手当金支給申請について

1件について就業時期等を調査し、再協議することに決定。(沖中)

報告事項

1 第2回全協中国・四国支部委託研修会について(8月25日)

愛媛県医師国保組合の担当で松山市において開催。「マイナンバー制度・その運用に向けて」をテーマに厚生労働省国民健康保険課 愛須通裕 課長補佐の「国民健康保険組合の現状と課題―社会保障・税番号制度導入に関して―」ほか3題の講演があった。(沖中)